

# F 筑紫女学園報 Report

# No. 77

2012 June

2012(平成24)年6月1日



特集

## 新学長・新校長が語る「筑女の未来」

～創立110周年に向けた「筑女プラン」をとおして～

その教育 しなやかで、ゆるぎない。  
学校法人 筑紫女学園

<http://www.chikushi.ac.jp>

筑女

検索



出遇いに感謝 列れに感謝。  
感謝とは、するのではなく  
自然にあふれてくるものである。

**感** 謝“ということばは、辞書に「ありがたいという気持ちを表すこと」とあります。校訓にも「感恩」ということばがあり、「自分を支えている、はかり知れないはたらきに感謝の念を抱き、その恩に報いたいと願いながら生きること」と述べられています。一般的によく「感謝する」という使い方をしますが、自身を振り返り、一つひとつのことが自分のために働いてくれていたことに気づく中で、「する」ではなく、自然に心の中から溢れてくる「あり

がとう」の気持ちこそが、本当の感謝“ではないでしょうか。私たちは、家族や友人や先生方など、さらに直接的ではなくても多くのものと関わりをもつて支えられながら生きています。そして、様々な出遇いや別れの経験を通して成長をしていきます。一生のうちで、今という時間は二度と経験することはできません。すべてのことが皆さんにとつて貴重なことなのです。感謝について、いま一度考えてみませんか。



※「法海」とは、仏法の広大なことを海にたとえている言葉です。

この内容は、高校・中学のWebサイト「今月のことば」に掲載されています。「今月のことば」とは、毎月はじめ、高校・中学の全校生徒に配布している「こころに響くことば」です。皆さまもぜひご一読ください。【アクセスバナー】 <http://www.chikushi.ac.jp/kotoba/>

## Contents

CJ Report | No.77 | 2012 June

### Special Issue

P2 **新学長・新校長が語る「筑女の未来」**  
～創立110周年に向けた「筑女プラン」をとおして～

### Special Topics

P5 **大学・短期大学部「平成23年度 就職・進路状況」**ほか  
P6 **高等学校「今春の進路状況報告」**

### CJ People

- P7 **やるネ! 筑女生**  
・震災復興ボランティアで見えてきたもの (飯口 紗季さん/大学・発達臨床心理学科3年)  
・九州大学の「高校生・科学者育成プロジェクト」に参加 (原 朱音さん/中学・高等学校 平成24年3月卒)
- P9 **がんばる! クラブ** ・高校宗教部 ・クラブ活動の成果
- P10 **キャンパス通信** ・「CJ♥KENJIN(筑女式県人会)」発足のびのび! 幼稚園 ・7年目を迎えた2歳児教室「たんぽぽ」
- P11 **就職の筑女** ・第一生命保険株式会社 原 淳子さんの巻
- P12 **卒業生からの手紙** ・河村 純子さん(高校OG) **支えびとさん、登場!** ・石橋 章生さん(元・幼稚園/バス運転手)

### CJ Topics

- P13 **CJ ホットピックス** ～注目の学園ニュース～  
・学園「入学式を華やかに支える筑女生たち」  
・幼稚園「響流(こゝろ)の森、保護者の方々と一緒に整備」
- P14 **CJ フォトピックス** ～写真で見る筑女生の「今」～

### CJ Information

- P17 **就任・人事** ほか  
P18 **新任者からのごあいさつ** ほか

### CJ Academy

- P19 **生涯学習のススメ** ほか  
・公開講座レポート  
・2012(平成24)年度前期 筑紫女学園大学 公開講座情報  
・先生方の著作紹介

### CJ Reportの読み方

#### 各学校のマークについて

学校ごとに以下のマーク(色分け)を施しています。



上記以外の記事の色分けは任意で行っています。

### 表紙のこと

今回の表紙は、今年3月、震災ボランティア(本誌P7参照)に参加した学生と、その活動を支える実習支援センターの職員です。人と人とのつながりが最も大切であり、継続して自らが支援するという強い意志を、「つなげろ。」という言葉で表現しました。



### 「CJ Report(筑紫女学園報)」のバックナンバーはWebサイトで!

各学校のサイトからバナーをクリックするだけで本誌のバックナンバーをご覧いただけます。







今年度入学・入園式(写真左上から時計回りに大学・短期大学部(4月5日)/中学校(4月7日)/高等学校(4月7日)/幼稚園(4月12日)) ※詳細をP13で紹介しています。

特集

新学長・新校長が語る

# 筑女の未来

～ 創立110周年に向けた「筑女プラン」をとおして～

今年度から大学・短期大学部に若原道昭学長、中学・高等学校に中嶋利昭校長が就任し、

筑紫女学園は新たなスタートを切りました。

そこで今回は、現在策定中の学園中期計画「筑女プラン」をとおして見えてくる

「筑女の未来」について、お二人に語っていただきました。





## 新学長メッセージ

# 明日へと動き続ける大学へ 一人ひとりの力を 同じベクトルへ

筑紫女学園大学・短期大学部  
若原 道昭 学長

【Profile】わかほら・どうしょう●1947年鳥取県生まれ。京都大学大学院教育学研究科博士課程修了。1992年に龍谷大学短期大学部教授に就任し、以降、同大学短期大学部部長、副学長、知的財産センター長を経て、2007年に第17代龍谷大学学長に就任。本年4月より、筑紫女学園大学・短期大学部学長に就任。専門は「教育哲学」。

大学が「競争」と「評価」によつて真価が問われる時代の中で

## 全

教職員が一丸となって  
本学の明日を創りあげる大切な時に学長に就任することとなりました。微力ながら、精一杯、職責を務めんと身の引き締まる思いです。なぜなら、大学・短期大学部を取り巻く環境は、年々厳しさを増しているから  
です。18歳人口が再び減少し始める5年後を前に全入時代を迎えようとしている現在、大学では学生の多様化に応じた、きめ細かなサポートが不可欠となりました。また、経済・産業界のグローバル化を背景に、大学にも国際的な競争力が求められています。こうした社会情勢に  
えるためには、教育と研究の質を高めなければなりません。知識基盤社会と言われる21世紀において大学が担う役割は重く、学生の就職も厳しい状況が続いています。つまり、ひとりでいうならば、大学は今、「競争」と「評価」にさらされているのです。

こうした中、本学は、浄土真宗の教えに基づいた百年を超える女子教育の実績を強みとしています。私は仏教系の科目が必修として10単位も組み込まれているカリキュラムに驚き、素晴らしいことだと思いました。各大学が個性のアピールに悩む中、本学ほど建学の精神を打ち出すことのできる大学は稀有なのではないでしょうか。

## あるべき姿に向けて 「筑女プラン」の各論へ

## 東

日本大震災以降、欲望の追求により、便利さや豊かさを手に入れてきたこれまでの社会を見直す傾向が強まっていますが、仏教はそうした方とは考えを大きく異にします。仏教は人間の欲が限りないことを自覚したうえで、欲を抑え、コントロールするよう導くもの。また人間だけを特別扱いすることを良しとしません。その教えを伝え、専門の学識を「何のために」誰のために「役立てるのかを意識し、他を気遣う生き方や価値観、公共心を育みたい」と願っています。それこそが、

本学ならではの教育に他なりません。

その実現のために全教職員の旗印として、創立110周年に向けた5カ年計画「筑女プラン」の総論が完成しました。これからは、いよいよ各論。5年後の到達目標に向けてアクションプランを各部署との間で議論し、実施案を詰めている段階です。

多くの時間とエネルギーを費やそうとも、大切なのは議論を重ねて全員が参画できるプランをつくり上げること。プランの実施を通じた教職員一人ひとりの成長も期待するところです。また、大学の為すべきことが量的質的に拡大した今、意思決定のスピード感を増し、効率的かつ戦略的、機動的に本学を運営していくためにも、「筑女プラン」は不可欠です。

大学が動いているとキャンパスが活気づき、そのエネルギーは学生にも伝わるもの。本学は、厳しい状況を前進へのエネルギーに変え、「筑女プラン」の達成によつて、次代も社会の希求に込めてまいります。

## 「筑女プラン」の 実現に向けて 今、学園が動いています

「筑女プラン」は「学園の使命」「8つの将来ビジョン」(左記参照)をもとに、「創立110周年(2017年)のあるべき姿(到達目標)」と「ブランド展開実施基本方針(アクションプラン)」から構成されています。アクションプランは各学校共通の12項目からなり(左記参照)、それぞれ今後5年間で重点的に取り組む課題や目標を明確にし、教職員をはじめとするステークホルダーが共有できるものを作り上げていきます。

現在、具体的な行動計画としての「アクションプラン」の完成を目指しながら、並行して今年度から実施可能な内容については、すでに行動を開始しています。

これらの進捗状況を年度ごとに検証しながら、さらに魅力ある「学園づくり」に向けて「深化」を遂げていく予定です。

## 「筑女プラン」概略

### 8つの将来ビジョン

- 一、<いのち>を大切にする教育実践
- 二、女子教育の社会発信
- 三、学園の総合力による教育改革
- 四、きめ細かな支援体制づくり
- 五、学びを支えるキャンパス整備
- 六、学園内のつながり拡充
- 七、地域社会のつながり保持
- 八、福岡と世界を結ぶ国際交流





## 新校長メッセージ

# よく見る、よく聴く、 よりよく語りかける。 先生、そして生徒との 対話を通して

筑紫女学園中学・高等学校  
中嶋 利昭 校長

【Profile】なかしま・としあき ●1951年福岡県生まれ。京大文学部数学科卒業。福岡県立筑紫丘高等学校(教諭)、福岡県教育委員会教職員課(人事管理主事)、福岡県立早良高等学校(校長)、福岡県立修猷館高等学校(校長)を歴任し、本年4月より、筑紫女学園中学・高等学校校長に就任。平成23年度文部科学大臣教育功労者表彰。

本校最大の魅力は  
生徒一人ひとりが支える  
百余年の伝統と信頼

4月6日の始業式で私は、生徒へ「筑女の魅力とは何だろう」と投げかけました。私の答えは明確です。それは、学外の人に評価される「きちんとした佇まい」であり、「地域からの信頼」です。百年を超える伝統は、ただ

学校があるだけで築けるものではありません。歴史を支えてきた先輩たちがいてこそ今日があるのです。その想いから、「基本は君たち。一人ひとりの輝きを大切にしたい」と生徒に語りかけました。

一方、学内に目を向けると、中高一貫コースの中学と高校、さらに高校の特進コースと進学コースがある総合体であり、一つの学校というイメージにはめ込もうとするのは難しいというのが私の実感です。ただし、いずれのコースにおいても、「浄土真宗の教えに基づく人間教育」を建学の精神として共有しています。入学式で聖歌隊の歌を聴き、私は心が穏やかになるよ

うな感動を覚えました。新入生も同じ想いだったのではないのでしょうか。そこから始まる筑女ならではの教育を基盤としつつ、現在は、創立110周年に向けた5カ年計画「筑女プラン」の具体的な実施内容をアクションプランとしてまとめようとしているところです。

### 先生方と議論を重ねて 「筑女プラン」の実現を

では、これからの筑女にとって何が最も大切なのか。それはまず、生徒一人ひとりといかに向き合うかということとです。生徒の話を聴き、傍に寄り添い、語りかけることなくして、理想に描く姿は実現しません。また、

そのために、理想を単に簡単に数値化するのではなく、先生方と議論を重ね、深めたいと考えています。進路指導部は生徒一人ひとりの将来を見据えた進路の実現を図り、教務部は整然とした授業スタイルを構築し、生徒指導部は社会に信頼される学校づくりの基本となる生徒指導を実践するといったことを目指していきます。

実は既知の先生が一人もいない本校に着任するときの私は、見知らぬ土地に落下傘で降り立つような気持ちでした。しかしながら、先生方は危機意識を持ち、熱心に私の話に耳を傾けてくれています。「筑女ではこうしてきました。公立校ではどうなのだろう」と尋ねられることもしばしば。その姿勢には、「本校で当たり前とされてきたことを改めて見つめ直そう」という先生方の熱い想いを感じています。

そうした想いに応え、筑女が堅持すべきことと変わるべきことを見極め、「筑女プラン」の牽引役になるのが私の役目と思っています。「校長が変わると学校が変わる」と言われますが、その姿を広く知っていただき、筑女の情報を発信するため、新たにブログも立ち上げようと考えています。管理職と先生方、先生方と生徒、学校と保護者や地域との信頼をより強めながら、自ら先頭を切って筑女の発展に貢献したいと思っています。

### 創立110周年(2017年) 時点のあるべき姿

質において  
西日本随一の学園

今後、各学校の具体的なアクションプランについては、本誌にて随時レポートしていく予定です。

### ブランド展開実施基本方針 (アクションプラン)

学校ごとに12項目(\*)にわたる  
重点課題・目標を抽出し、実行

※【宗教教育】【女子教育】【教育】【園児・生徒・学生支援】【国際交流】【研究・研修】【広報・入学定員確保】【社会貢献】【施設・設備】【管理運営】【財務】【新規事業】

### 「筑女プラン」の全体像 2017年のあるべき姿(各学校の到達目標)

- 附属幼稚園
  - ・「響流の森」と一体となった教育・保育環境の実現
  - ・子育て支援に対する社会貢献への取り組みなど
- 大学院・大学・短期大学部
  - ・学生自らが成長を実感し、達成感を自覚できる教育実現
  - ・新たな学部改組計画の進行など
- 法人本部事務局
  - ・各学校と連携した将来構想の実現など
- 高等学校・中学校
  - ・男女別学の特性を活かした女子教育
  - ・自己の進路実現に向けた取り組みなど



学園の出来事から厳選してお届け！



大学・短期大学部

# 平成23年度就職・進路状況

厳しい就職環境の中、例年並の水準を確保

**本** 学の平成23年度就職内定率は、大学で82.8%

短期大学部では90.3%と、厳しい就職環境が続くなか、ほぼ横ばいを維持し、福岡県内の平均値と同等の推移を示しています。

また、本学への求人数は、大学では25.7%、短期大学部では22.1%増加しています。その理由として、①福祉業界や通信販売業界、②幼稚園や保育園などの求人枠が増えたことが挙げられます。

一方、求人数が増加しているのに対し、就職率が同じ割合で上昇していない理由としては、①増加した求人枠が、福祉業界や通信販売業界に偏っていること、②中小企業の情報が行き届いていないこと、③自宅からの通勤を希望する傾向が強いこと、④長期化する就職活動を断念してしまふ傾向があること、などが挙げられます。一般的にはそれほど知名度が高くない企業でも、その業界ではトップク



昨年7・8月に開催した工場見学ツアー。

**卒業生の就職支援も行うキャリアセンターを開設**

さらに、長期化する就職活動への対応として、本学では



今年2月に開催した学内企業説明会。

昨年4月、福岡市内に「天神キャリアセンター」を開設しました。在学生のみならず、卒業生の就職活動も含めた支援を続けています。

特に近年は、学生の進路の多様化が進んでおり、大学は、いかに早い段階でキャリア形成への意識づけを行い、就職活動に意欲を持たせるかが大きな課題となつていきます。

本学としては、進路情報コーナーでの情報発信を中心に、個人相談を強化するなど、きめ細かな支援に力を入れています。また、学内企業説明会を開催するなど、地元企業と学生とのつながりを維持向上する取り組みを積極的に展開しています。

## ●平成23年度 就職・進路状況

平成24年3月31日現在

	大学	短大部	大学院	総計
卒業・修了予定数(人)	596	224	5	825
うち9月卒業者数(人)	9	1	0	10
就職希望者数(A)(人)	464	207	5	676
就職希望者率(%)	77.85	92.41	100	81.94
内定者数(B)(人)	384	187	4	575
就職内定率[(B/A)×100](%)	82.8 (2.1%↓)	90.3 (0.1%↑)	80.0 (13.4%↑)	85.1
福岡県内への就職率(%)	69.8	80.2	75.0	73.2
求人件数(件)	1,359 (25.7%↑)	1,261 (22.1%↑)	109 (3.8%↑)	2,729 (23,0%↑)
就職者以外				
進学(人)	14	7	0	21
留学(人)	9	1	0	10
専門学校(人)	19	1	0	20
公務員・日本語教師・学芸員・教職(人)	14	1	0	15
アルバイト(人)	48	5	0	53
その他(家事手伝い)(人)	28	2	0	30
計	132	17	0	149

就活・進路情報、先輩の体験談など、大学・短期大学部のWebサイトでも紹介しています。

## ●平成23年度 国家資格・免許取得状況

資格・免許	取得者・要件充足者・修了者
教育職員免許状(大学)	中学校一種(国語) 10
	中学校二種(英語) 5
	中学校一種(社会) 1
	高等学校一種(国語) 10
	高等学校一種(英語) 5
	高等学校二種(地理) 2
	高等学校一種(福祉) 6
(通称)小学校一種 8	
(通称)幼稚園一種 1	
教育職員免許状(短期大学部)	幼稚園二種104
保育士資格(大学・短期大学部)	142
社会福祉士国家試験受験資格	51
精神保健福祉士国家試験受験資格	13
学校図書館司書教諭資格	12
博物館学芸員資格	49
日本語教員養成課程(副専攻)	22
中国語副専攻課程	22
認定心理士資格	119
浄土真宗本願寺派教師資格	2
フードスペシャリスト資格	2
情報処理士資格	34
ビジネス実務士資格	24

注)平成23年度より、文学部人間福祉学科・発達臨床心理学科は募集停止となり、人間科学部人間科学科を新設しました。人間科学部では、これまで人間福祉学科・発達臨床心理学科で取得可能な免許・資格も取得でき、さらに中学校教諭一種免許状(社会)や、通称ではなく小学校・幼稚園教諭一種免許状の取得が可能になりました。(各専攻・コースの取得可能資格要件をご確認ください)

公立学校教員採用試験に現役7名が合格

**国** 家資格・免許状の取得状況は左下表に示しています。

このうち、教育職員免許状は、小・中・高合わせて延べ47名が取得しました。取得者の60%が就職に就き、そのうち7名が公立学校採用試験に現役合格しています。これらの数字は、こ

れまで本学が行ってきたユニークな取り組みの成果であり、昨年度開設した人間科学科(初等教育コース)の完成年度に向けて、さらに伸びていくと思われ

ます。社会福祉士・精神保健福祉士国家資格は、年間を通して正課外の「国家試験対策講座」を実施し、例年全国平均に近い合格実績を残しています。幼稚園教諭および保育士資格取得者については、例年100%に近い専門職就職率となつています。

# 平成23年度国家資格・免許取得状況

大学・短期大学部









The Wonderful Behavior of CJ-Students

# やるネ! 筑女生

勉強をはじめ、さまざまなことに積極的に取り組む筑女生の活躍を紹介するコーナー。今回は「震災復興ボランティア」に取り組む大学生と、「九州の優秀な高校生を未来の科学者に育てる九州大学の取り組み」に参加し、研究成果を発表した高校生(今春卒業)に登場していただきました。

01

【大学】

## 震災復興ボランティアに参加したことで見えてきたもの

俵口紗季さん(大学/発達臨床心理学科3年)



いて専門的な知識があるわけでもない自分に来るようになって、ほとんどないだろう」と決めつけていました。しかし、時が経つにつれ、「行動せずに後悔したくない」「現地に行きたい」と考えるようになった私は、多くの社会福祉協議会やボランティアアセンターに問い合わせました。その結果、青年海外協力隊OBを中心に結成された「災害ボランティア九州協力隊」に参加することができ、大震災から6カ月後、宮城県気仙沼市大島に向かうことができたのです。

そして、九州協力隊の活動から約半年後の今年2月末、大学の支援をいただき、再び被災地である岩手県に向かうことができました。

被災した多くの人々は1年を経てやっと現実を受け入れはじめ、苦しめて思い出したくないことでも語り伝えようとしています。「語り伝えることが使命だ」という声をたくさん耳にしました。被災者から直接話を聞くことの影響力は非常に強いものです。実際に見た被災地の様子や匂い、雰囲気、映像や写真で見た津波の様子を思い浮かべながら聞いています。頭の中で3Dを疑似体験している感覚になります。それでも、被災地にゆかりのない人にとって、被災者と同じ気持ちになることは難しいことなのかもしれません。しかし、語り継ぐことで変えられるものはたくさんあります。「福岡から来ました」と言って、変わり果てた故郷で

思いを受け継ぎ、語り継ぐことの大切さを実感

小

学校2年生の時に参加した障がい児サークルでの料理教室。これが私の様々な活動の原点であり、きっかけでした。その私が新たに足を踏み入れたのが、東日本大震災におけるボランティア活動です。

今でこそ活動を始めて良かったと思っていますが、最初は被災地向かうことを躊躇していました。昨年3月11日、テレビの中の光景を見ながら、「東北は、日本は、これからどうなってしまうのか。何かしたい、でも、遠く福岡に住んで

積み上げられた瓦礫の山やその横で生活する人々、見るもの聞くもの全てが良くも悪くも私の価値観を大きく変えました。自然の猛威に対する人間の無力さや自分の弱さを思い知らされた反面、困難に立ち向かう人間の強さや今まで知らなかった自分の可能性など、気づかされたことは数え切れません。

活動しようとする正体不明の私たちを受け入れてくださった人々。涙ながらにいろいろな話をしてくださり、生活している仮設住宅の中を見せ、「遊びでいいからまた来なさいね」と言ってくれた人々。東北の人々の使命が語り伝えることなら、専門的な知識も技術もない私の使命は、「その思いを受け継ぎ、また語り継ぐこと」という思いを強くしました。

災害ボランティアと特別支援教育との共通点

大きな発見となったのは、東日本大震災について考えることと、特別支援教育

育について考えることは、どこかで繋がっているということです。私は将来、特別支援学校の教員を目指しているため、子どもたちに対する社会的援助や自立支援について考える機会が多々あります。今回の活動を進めていく中で、まだ漠然とはありませんが、私にとっては、どちらもずっと向き合っていくべき大きいテーマとなりました。

ボランティアをはじめ、様々な活動ができることへの感謝を忘れず、「できることをひとつずつ」。これを motto にこれからも様々な挑戦を続けていこうと思います。



1年経ったとは思えない風景。



「思いを伝えるため」  
学内の壁一面に貼られた被災地の写真。



# 02

【中学・高等学校】

## 九州大学の高校生プロジェクトに参加し 研究成果を「未来の科学者養成講座」で発表

原朱音さん(中学・高等学校/平成24年3月卒)



科学を愛する方々との  
出会いが  
大きな刺激と喜びに！

**私**は、2010年9月から  
2011年3月まで、九  
州大学の「エクセレント・ス  
チューデント・イン・サイエン  
ス育成プロジェクト」に参加し  
ました。このプロジェクトは、

物理・化学・生物・数学の4  
部門からなり、私が参加した  
のは数学部門です。まずは、  
大学レベルの内容の講義を  
受けて、知識を身につけま  
す。その後、生徒それぞれの  
興味に合わせた課題を選び、  
大学で実際に活躍されている  
先生方や大学院生の先輩方に  
助けをもらいながら、課題に  
取り組みます。

物理・化学・生物・数学の4  
部門からなり、私が参加した  
のは数学部門です。まずは、  
大学レベルの内容の講義を  
受けて、知識を身につけま  
す。その後、生徒それぞれの  
興味に合わせた課題を選び、  
大学で実際に活躍されている  
先生方や大学院生の先輩方に  
助けをもらいながら、課題に  
取り組みます。

りて進んでいかなければなら  
りません。困難にぶつかると  
とも多々ありましたが、その  
度に「苦しい」というよりは、  
むしろ「面白い」と感じてい  
ました。誰も解いたことのない  
問題に取り組むことの喜  
びや充実感を感じることが  
できました。

私は将来、科学者になり  
たいです。今回、様々なこと  
を学び、多くの人と出会っ  
たことで、その思いがますます  
強くなりました。4月か  
らは、九州大学理学部生物  
学科に進学しています。将  
来は生物の中に潜む数学的  
法則について研究したいで  
す。例えば、ヒマワリの種の  
並び方には、1, 1, 2, 3, 5, 8, …  
という、前2つの項を足して  
次の項をつくるフィボナッチ  
数列が隠れています。この  
ような法則が生物にもた  
らす利点は何か、突き詰め  
てみたいと思います。

私が取り組みます。

私が取り組みます。

題は、まだ説明されて  
いない未解決の分野  
でした。高校で学習す  
る数学は、解き方を  
習ってから演習を繰  
り返します。あらかじ  
め地図が与えられて  
いるようなものです。  
しかし今回は、解き方  
を教えてもらうこと  
はできません。類似の  
問題を参照したり、講  
義で得た知識の中か  
ら使いそうなものを  
選び出しながら、手探

加えて、科学を愛する多く  
の方々との出会いが、私に  
とって大変良い刺激となり  
ました。九州大学でお世話に  
なった先生方は、数学の面白  
さを示してくださいました。  
また、このプロジェクトに参  
加した高校生は、優秀な生徒  
ばかりで、ともに科学者を目  
指す仲間として交流するこ  
とができました。

今回、このような素晴ら  
しいプロジェクトに参加す  
るきっかけをくださったの  
は、中学校の増田菜美先生  
です。先生は、私を美しい数  
学の世界に誘い、中高の6年  
間見守ってくださいました。  
本当にありがとうございます。

**全国発表会で見えてきた  
新たな課題への挑戦。  
そして恩師への感謝**

そして、このプロジエク  
トの研究発表会にお

いて「エクセレント・スチュ  
デント」として表彰され、  
2011年9月に東京大学  
で行われた「未来の科学者養  
成講座第2回全国受講生研  
究発表会」に九州大学代表と  
して出席し、発表しました。

これは、「興味本位の研究だ  
けでなく、社会に役立つ研究  
をしなければならぬ」とい  
うご指摘であると考えまし  
た。「役に立つ研究」とは何な  
のか、という問いに対する答  
えはまだ出ていません。こ  
れからじっくり考えていき

原さんが東京大学で発表した研究  
「ある退化型二階非線形微分方程式の時間大域解と減衰」。







The Excellent Club Activities

# がんばる! クラブ

vol.17

高校 / 宗教部

それぞれの活動に充実した時を重ねる生徒たちの様子をお伝えするこのコーナー。  
今回は、「雅楽」の活動が加わって、紫苑祭へと活気づく宗教部におじゃましました。



## 部員構成

・3年生 9人  
・2年生 9人

## その他の活動

学校周辺の清掃  
校内仏教行事の準備 ほか



## 指導者インタビュー

## 雅な筑女の音色を学内へ、そして地域へ

宗教部では、戦後間もない創部当時に行っていた影絵劇を復活し、授業とは違う形で仏教との関わりを経験しています。また、筑女ならではの通年活動として、浄土の音色とも言われる雅楽を生徒に提案したところ、とても熱心に取り組んでくれるようになりました。私もともに学んでいます。雅楽は法要の中で重要な位置づけのもの。難しさもみんなで共有し、ともに歩み、達成感を得てほしいと願っています。高文祭への出場を目標に、今後はさまざまな学校行事や地域の行事などにも活躍の場が広がることでしょう。

顧問/平 孔龍 教諭



「影絵劇のテーマは仏教的な考えさせられるところがあるものを選んでいきます。授業や行事に加え、部活でも関わることで、以前とは仏教のイメージが変わりました。今は宗教というより、こころの指針になっています。卒業しても、きつと役に立つと思っています」と部長の船橋夏帆さん。

「雅楽を取り入れたことで芯のある部活になりました。2月に行われた中学校茶道部の雑祭り茶会で初めて演奏を披露し、現在は、中央ステージでの演奏が決まっている紫苑祭に向けて、「越天楽」という楽曲を練習しています」とも話してくれました。

雅楽の会「和雅音」の方々に前に、箏や笙、竜笛を奏でる様子は誰もが真剣そのもの。指導を受ける時は笑顔に戻るものの、熱心なやり取りが交わされます。会の方に何うと、「筑女の生徒さんは上達が早く驚いています」とのこと。互いに競いつつ、こころを重ねる調ととも、筑女の新たな伝統が育まれています。

## 「筑女の伝統を感じています」

## 「宗教部」と聞くと、聖典の勉強や読経を想像する方も多いいのではないのでしょうか。実は、宗教部の主な活動は、紫苑祭に向けた影絵劇の制作とお念珠づくり。昨年10月からは、希望者を募って「雅楽」の練習も始まりました。親鸞聖人の諡号から命名された仏教教室「見真堂」には文字通り、雅な音色が流れています。

## クラブ活動の成果 | 高等学校

2012.1~5

## 放送部

- 2月4日・福岡県
  - 【高校放送コンテスト南北大会】
  - ◎アナウンス部門A
    - ・優勝 徳永 真由
    - ・準優勝 阿部 桃子
  - ◎アナウンス部門B
    - ・優勝 友寄 美咲
    - ・準優勝 鹿毛 歩美
    - ・5位 遠辺 柚里
  - ◎船橋部門A
    - ・優勝 石橋 真由子
    - ・3位 坂本 麻沙子
  - ◎船橋部門B
    - ・優勝 吉田 奈央
    - ・3位 玉川 恵
  - ◎船橋部門C
    - ・優勝 濱崎 彩花
    - ・4位 重松 沙恵
    - ・6位 庄山 七月
    - ・奨励賞
  - ◎アナウンス部門
    - ・嘉村 結香 / 上野 葵
    - ◎船橋部門
      - ・宮野 奈々子 / 森 貴恵 / 田代 真美
- 4月29日・福岡県
  - 【高文連福岡県高校放送コンテスト福岡地区大会】
  - ◎船橋部門
    - ・2位 鹿毛 歩美
    - ・4位 渡邊 柚里
    - ・入賞 嘉村 結香 / 阿部 桃子 / 吉田 奈央 / 庄山 七月 / 重松 沙恵 / 永尾 沙鞠 / 豊島 明子 / 杉岡 摩利恵 / 石橋 真由子 (以上11名が県大会進出)
- 5月3日・福岡県
  - ◎アナウンス部門
    - ・優勝 濱崎 彩花
    - ・4位 玉川 恵
    - ・5位 坂本 麻沙子
    - ・入賞 天津 友里 / 徳永 真由 / 有本 鼓美 (以上6名が県大会進出)

## バスケットボール部

- 2月10日~12日・佐賀県
  - 【第42回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会】
  - ・B/バート 2回戦敗退

## ハンドボール部

- 2月2日~5日・沖縄県
  - 【第40回九州高等学校ハンドボール選抜大会】
  - 【第35回全国高等学校ハンドボール選抜大会九州地区予選大会】
  - ・1位 トーナメント1回戦 本校31-14国分中央(鹿児島)
  - ・準決勝 本校23-41那覇(沖縄)
  - ・第3位 (九州第3代表で全国大会出場)
- 3月24日~30日・岩手県
  - 【第35回全国高等学校ハンドボール選抜大会】
  - ・1回戦 本校24-16盛岡南(岩手)
  - ・2回戦 本校16-31飛騨高山(岐阜)

## テニス部

- 1月14日~15日・兵庫県
  - 【全国私学高等学校テニス選手権大会】
  - ・山上 映 3回戦
- 3月28日~31日・福岡県
  - 【第39回九州ジュニアテニス選手権大会】
  - ・18歳以下女子シングルス 伊藤 百合香 4位
  - ・18歳以下女子シングルス 矢吹 恵梨 11位
  - ・18歳以下女子ダブルス 東 愛菜・矢田 楓 べア 8位

## 空手道部

- 4月15日・福岡県
  - 【福岡市少年空手道大会】
  - ◎高校三年 女子組手
    - ・優勝 加藤 麻衣
    - ・3位 花元 希望子

## 陸上部

- 1月15日・京都府
  - 【第30回全国都道府県対抗女子駅伝大会】
  - 福岡県チーム5位
  - 2区 木村 友香 6区 由水 沙季 7区 山下 希望

## 百人一首部

- 1月3日・福岡県
  - 【第42回太宰府かるた競技大会】
  - ・C級優勝 井上 麻帆
- 1月29日・熊本県
  - 【第28回全国かるた競技熊本大会】
  - ・D級2位 日名子 夏希
- 3月11日・大分県
  - 【第40回全国かるた競技宇佐神宮大会】
  - ・C級3位 高岡 菜々美
- 3月18日・鹿児島県
  - 【第31回全国かるた競技鹿児島大会】
  - ・C級2位 諸隈 美紗希
  - ・C級3位 渡辺 万香
  - ・D級3位 内堀 夏希
- 4月22日・熊本県
  - 【第29回全国かるた競技熊本大会】
  - ・A級優勝 鶴田 紗恵

## 文芸部

- 1月21日・徳島県 表彰式
  - 【第2回富士正晴全国高等学校文芸誌賞】
  - ・優秀賞 「いさゝら」53号





各県の方言紹介など楽しいイベントを通して、自然に友達の輪が広がりました。

The Report of Dazaifu Campus

# キャンパス通信

vol. 01

大学・短期大学部

大学・短期大学部でアクティブに活動する学生たちの姿を紹介するこのコーナー。今回は、今年4月に発足した「CJ♥KENJIN」について、レポートが届きました。



「1年前の私は、こんなことが大変だった」

「1年前の私は、こんなことが大変だった」

「1年前の私は、こんなことが大変だった」

「1年前の私は、こんなことが大変だった」

「1年前の私は、こんなことが大変だった」

「1年前の私は、こんなことが大変だった」

「1年前の私は、こんなことが大変だった」

「1年前の私は、こんなことが大変だった」

「知 知らない土地で、私は大丈夫だろうか？」

「知 知らない土地で、私は大丈夫だろうか？」

「知 知らない土地で、私は大丈夫だろうか？」

「知 知らない土地で、私は大丈夫だろうか？」

「CJ♥KENJIN (筑女式県人会)」を  
発足させました！

岩寄 真華さん(大学/人間科学部 人間科学科 社会福祉コース2年)



のびのび! 幼稚園

Vol.01

2歳児教室「たんぼぼ」お母さんと一緒に外の世界へ

平成18年に子育て支援の一環としてスタートした、未就園児親子教室「たんぼぼ」は今年で7年目を迎えました。対象の2歳から3歳にかけての子どもたちは、いろいろなことに興味を持ち、自我も芽生え、自分の世界が広がっていきます。

発達も月齢差がとても大きいこの時期、大好きなお母さんと一緒に通い、簡単にできるおもちゃや、おやつ作り、幼稚園の園庭で思いきり外遊びをしたりと、毎回いろいろな活動を親子で楽しみながら、それぞれのペースでゆつくりと成長してほしいと思っています。

親子の触れ合いやいろいろな活動を通して、子どもたちには「たんぼぼクラス(幼稚園)は楽しい!お母さんやお友達と遊ぶのが楽しい!」をいっぱい感じられる場所に。お母様方には、同年齢の子どもを持つ母親同士お話できる憩いの場所に。また、お子さんの世界の広がりをすぐ傍で見てもらいながら、一人ひとりの成長をみんなで喜んだり、考えられる場所になれるよう、今年も内容を充実させていきたいと思ひます。みんなで元気いっぱい遊びましょう!

たんぼぼ担当の  
岸田 由美子先生  
藤村 かおり先生



みんな夢中になって、おはなしの世界に入っています。





# 「大学&短期大学部」 OGと上司に伺う「筑女生のこと」

## 就職の筑女

The Success Story of Finding Work

vol. 22

本学卒業生をご採用いただいている企業へ伺うこのコーナー。今回は、2010年に株式会社文化・上場を果たし、「いちばん、人を考える会社になる。」というグループビジョン掲げる「第一生命保険株式会社」で活躍中の本学OG、原淳子さん、そして上司の林俊之さんにお話を伺いました。

**第一生命保険株式会社**  
福岡コンサルティング営業室 営業推進グループ  
課長 原淳子さんの巻



昭和57年、短期大学英文科卒の原さん。「部下一人ひとりの個性や能力を伸ばしてあげたいと思っています。上司として一番嬉しいのは、その想いに応えてくれた時ですね」と語る。

**筑女で学んだ「思いやり」が  
あらゆる仕事の礎に**

**20** 数年務めた事務職から  
採用担当へ。そしてこの春からは、営業の最前線へと活躍の場が変わり、原さんは新しいスタートを切りました。その背景にあるのは、第一生命保険が推進するダイバーシティ(多様性)への取り組み。多様な職員が生き活きと活躍できる職場環境や人事制度の整備によって、新たな分野へのチャレンジをバックアップしています。

「今は各企業を訪問し、社員の方さまへ商品をご提案する営業部隊の支援を目的として、担当者同行し、現場のやり取りなどに関する指導を行っています。営業は初めての経験ですが、当社はしっかりと人材育成のプログラムが組まれているので、不安はありません」と原さん。「営業に出るようになって、様々な組織があることを知りました。たくさんの方とお会いすることで、世界がとてお広がっています。我社は男女平等にチャンスを与えられる会社。その環境を活かし、一日も早く一人前の営業として実力を発揮できるようにしたいと思っています」。

**先輩に伝えたいこと  
「学生時代に数多くの  
出会いを...」**

**「事」** 務職時代は、より速く、より正確に多くの仕事を処理するための効率化がやりがいでした。採用を担当していた時は学生さんへの説明のために自社の歩みを振り返り、改めて良い会社にいることを実感したものです。そして、どの職種でも感じるの、人を思いやる気持ちが一番大切だということ。相手の状態を察知できる感性があれば、仕事でも必ず伸びるものです。また、女性が長く働く上でも、お互いに助け合うことが大きな力になっていきます。私はそういう他者への在り方が大切であることを筑女で学びました。今もその教えを心に刻み、日々の出会いを成長の糧としています」

「学生時代に数多くの出会いを経験してほしい。出会いは人に大きな影響を与えるからです。何でも怖がらずにチャレンジを」と後輩へエールを送ります。そして、ご自身の仕事については「課長職の責任はやりがいに繋がっています」とニコリ。その微笑みからは、しなやかな強さが感じられました。

上司の方に伺いました

**筑女出身者の感性にとっても期待しています**

お客様第一主義の経営理念のもと  
全ての人の安心を

**当** 社では15年ほど前から原さんのような女性の役職者が増えてきました。その背景として、いくつかの要因がありますが、まず挙げられるのは、近年特に女性ならではの感性がお客様に求められていること。また、東日本大震災では生命保険の役割を改めて痛感することになりました。一人ひとりのお客様の心に寄り添い、共感し、生涯設計をサポートするためには、女性の細やかな感性が必要なのです。

一方、社内運営においても転勤がないエリア職への期待が高まっています。当社は世界中へ転勤の可能性のあるグローバル職とエリア職からなる基幹職、そして1年契約のスタッフ社員で構成されていますが、エリア職が各拠点においてコア業務を熟知していれば、グローバル職が非常にスムーズにいくからです。原さんは、まさにその適任者。これまで私が接した筑女出身者と同様に穏やかで気配りができ、育ちの良さを感じます。また、いろいろな経験を積んでいるだけでなく、どんな場でも堂々と自分の考えを主張できる頼もしい存在です。今年から仕事が変わった



副支社長 林俊之さん

「筑女出身者は一緒に働きやすいので助かっています」と語る林さん。

### 今回の職場

- 社名: 第一生命保険株式会社
- 設立: 明治35年9月15日
- 資本金: 2,102億円
- 保険料等収入: 3兆565億円  
(平成22年4月~平成23年3月)
- 従業員数: 56,908名  
(内勤職員13,381名、営業職員43,527名)  
※平成23年3月末現在

ばかりですがこれから福岡コンサルティング営業室の中心を担ってくれることでしょうか。事実、結婚や出産で退職し、子育てが一段落して職場復帰を果たした後、支社長や本社の部長になつている女性もいます。筑女生の皆さんも高い志を持って、ぜひ当社の門を叩いてください。では、社会で実力を発揮するために何が必要なのか。それは、自ら考え、決断し、行動できる自立心です。また、学生時代に努力を続け、目標に到達した経験も必ず仕事に生きてきます。お客様一人ひとりの不安を安心に変えるのが生命保険の役割。画一的な対応では表現できません。自分の言葉を持ち、細やかな心遣いのできる人を目指して、充実した学生生活を送ってください。



# 卒業生からの手紙

vol. 4

## 「筑女で学んだ」という思いが 自分のアイデンティティを 培ってくれました

高校OG 河村純子さん(河村能舞台/能楽おもしろ講座主宰)

### 修学旅行で行った京都が 仕事の場になるとは…

京都に住んでいる私は、修学旅行生を中心に一般の方、外国の方、企業の方などに「能楽おもしろ講座」という能のワークショップや講演を、年間160回ほどさせていただいています。40年前に修学旅行で京都へ行った私が、その京都でこんな仕事をするようになるなんて、夢にも思いませんでした。

高校時代は登山部に入り、九州本土の山はほとんど登りました。卒業の折にその友人たちと、毎月千円ずつ積み立てて旅行に行こうということになり、積立金はその後値上げになったものの、この3月にはトルコで楽しい日々を過ごして来ました。主人

が8年前に亡くなった時には、仕事を休んで駆けつけてくれ、3日間あれやこれやと助けてくれました。聖典の歌に「身を粉にしても報ずべし」という言葉があります。文字通りの彼女たちの働きには感謝のみです。

### 若い方に「オンラインワンの 本当の意味を知ってほしい

これまで約18万人に「能楽おもしろ講座」を受講していただいていた最近感じるのは、生徒さんが幼稚化してきていることです。ここで「幼稚化」というのは、その人の在り方や生き方の指標になる、つまり日本人としての自覚が少なくなっているという意味です。「グローバルな人材」とよくいわれます

が、「グローバル」って一体何でしょうか？グローバルな人材とは、「まずしっかりと自分自身のアイデンティティを持ち、その上で相手のアイデンティティを認め、意見を交わせる人」です。「Only One」とよくいいますが、そこに存在しているだけで誰でもOnly Oneになれるわけではありません。能では何千回、何万回という基本の稽古を積んで、初めてその意味がわかるようになり、自分の中にその意味を取り入れ、ようやく人と違う花を咲かせられるようになります。それがOnly Oneであり、自分のアイデンティティだと思います。そのことを伝えていくのが私の使命ではないかと思

い、出会った生徒さんが社会に出て、10年、20年後の日本を支える人材になってほしいと願っています。私にとって筑女は特別な意味を持つ大切な存在であり、筑女で学んだという思い、い



河村さんの思い出の1枚

高校2年生の時、休み時間のひとコマ(写真左が河村さん)。

わば「筑女アイデンティティ」があると実感しています。どうぞ、筑女生というアイデンティティとその時に培った志を大切に、これからの人生に色とりどりの大輪の花を咲かせてください。最後に、私の好きな言葉をプレゼントします。

「人生に自動ドアはありません」

### 支えびとさん、登場!

vol. 1

新コーナー「支えびとさん、登場!」では、学園を陰から表から支えてくださっている職員の方々に登場していただきます。記念すべき第1回目は、附属幼稚園のバス運転手、石橋章生さんにご登場いただきました!

### みんなが気持ちよく楽しく 乗車できることを心がけた毎日でした

石橋章生さん(元 幼稚園/バス運転手)

平成13年から10年間、附属幼稚園のバス運転手として勤務してきました。園児たちはみんな、幼稚園バスが大好きで、バス通園の子はもちろん、徒歩通園の子もバス運転手の我々となかよいです。運転の業務のほか、子どもたちと虫探し、どんぐり拾い、たけのこ掘りなど、様々な遊びや行事に参加させてもらい、園の営繕や、子どもたちの遊具の修理も手伝わせていただきました。

バス2台、2名の運転手で園児たちの送迎を担当し、安全第一、毎日みんなが気持ちよく、楽しく乗車できることを一番に、ハンドルを握っていました。

3月の修了式の日、私のバス運行もこの日が最後となりました。帰りのバスが発車するとき、園児たちはもちろん、大勢の保護者の方も一緒に、園の門から坂道へと連なり、見送りをしてくれました。

4月からは、中村さんと新任の北島さんによるバス運行が新たにスタートしています。陰ながら、園児たちが元気に大きく育ってくれることを願っています。



右が石橋さん左が中村さん。10年間ご苦労様でした!



注目の学園ニュース

## CJホットピックス

大学・短期大学の入学式には「筑紫女学園フィルハーモニー管弦楽団」が歓迎演奏。

1

学園

各学校合わせて1560名の新生を迎え、入学式・入園式を執り行いました

式典を生き活きと華やかに支える筑女生たち

4 月5日に大学院・大学・短期大学部、4月7日に中学・高等学校で、若原道昭新学長、中島利昭新校長をお迎えして初めての入学式が挙行されました。さらに幼稚園では、4月12日に入園式が挙行され、合計1560名の新生が筑紫女学園の各学校に入園・入学しました。

大学・短期大学部では、ガムランサークルやフィルハーモニー管弦楽団による演奏、中学・高等学校では、聖歌隊による歌が、式典を華やかに盛り上げ、また、昨年に引き続き、東日本大震災の支援のため、震災ボランティア参加学生や仏教委員会を中心に募金活動も実施されました。

新生は、これから始まる学校生活に期待を膨らませるとともに、生き活きと式典を支える上級生の姿に、自分自身の将来像を重ね合わせたことでした。



大学・短期大学部の入学式会場ロビーではガムランサークルがオリエンタルムードを醸し出す演奏を。

入学式だけではなく、学園内で開催されている様々なイベントにおいて、学生や生徒たちは、表方、裏方と幅広くサポート活動をしています。大学・短期大学部では、学生スタッフを中心となつて、オーブンキャンパスの会場設営や高校生を案内するアシスタントをしています。中学・高等学校でも、合格者招集日の受付や、学校紹介・見学会のお茶の提供、案内などで活躍し、参加された方からは「在学生のスタッフの方々が、とても親切、丁寧に教えてくださり、娘もこんな風になれたらいいなと思います」とのご意見もいただきました。



中学・高等学校では聖歌隊が歌を披露。

学園で開催される式典やイベントは、学生、生徒、園児の成長の場でもあります。勉強だけではなく、日々の活動の中で、「相手が喜んでくれた」「人の役に立った」「笑顔で接すれば笑顔で返してくれる」といったことを体験し、自らがその喜びに気づいたときに、子どもたちは成長します。そして、自ら考え、判断し、行動していくことへとつながっていきます。

ぜひ、式典やイベントの際には、キラキラした笑顔で頑張っている筑女生の姿を見つけてください。

2

幼稚園

「響流の森」がますます充実します

保護者の方々と一緒に作る、子どもたちの遊び場づくり

幼稚園に隣接する「響流（こゝる）の森」は、昨年度、遊歩道や危険防止柵などの整備が完了し、いよいよ本格的に「遊び・体験し・学ぶ」活動が始まっています。「保護者の方々と一緒に、もつと楽しく遊び、体験し、学ぶ」との願いから、保護者と園児を対象にした見学会を実施したり、森の中に設置する遊具のアイデアを募集しました。お寄せいただいたたくさんの方々のアイデアの中から、今年度は①木々の名札作り、②ツリーハウス作り、③ロープ等を使った遊具作りの4つに絞り、実行することになりました。

や中学・高等学校生物部の生徒さんのご協力のもと、植生調査を実施。ツリーハウス作りは、保護者の設計士の方のご協力もいただくことができ、もうすぐ設置という段階にまで来ています。

ロープを使った遊具作りは、落下防止の器具をつけた保護者の方が木に登り、ロープを結びつけ、何種類もの遊具が出来上がりました。看板作りは、出入り口に、園児たちの作品も使った楽しい看板ができています。多くの皆様のご協力により園児たちが遊び、体験し、学ぶ場が少しずつ形になってきました。引き続き、活動を続けていきますので、これからもぜひ、ご協力をお願いいたします。



前期大学部の佐々木浩先生



**学内企業説明会**  
2月7日、学内企業説明会を開催。約310名の  
本学の来春卒業予定者と43社の企業様が参加し、  
RKBのニュースでも紹介されました。



写真で見る筑女生の「今」  
**CJ フォトピックス**  
大学・短期大学部



**名本幹雄先生 瑞宝中綬章受章祝賀会**  
2月12日、本学名誉教授(元学長)名本幹雄先生の  
瑞宝中綬章受章祝賀会が、ホテル日航福岡において  
盛大に執り行われました。



**春期ニュージーランドキャリア研修**  
2月25日～3月17日、海外研修を実施。オークラン  
ドでホームステイをしながら語学学校に通い、職  
業体験プログラムに参加しました。



**大牟田病院より感謝状**  
3月1日、「療育体験ボランティア」に対して、日本語・  
日本文学科4年松田聡美さんと2年松田美希さん  
姉妹が表彰されました。



**教職合格発表会**  
3月3日、教職合格者の報告会を開催。公立小・中・高校  
への採用を見事勝ち取った4年生と卒業生が、教職  
課程の在學生に報告会を開きました。



**震災ボランティア報告会**  
3月27日、震災ボランティアの活動をした37名の  
うち3名が、被災地の現状や体験談を写真ととも  
に報告し、NHKのニュースでも紹介されました。



**手話サークルボランティア**  
3月30日、大野城市立大利小学校でボランティア  
活動を実施。留守家庭児童保育所で、手話の魅力  
や楽しさを肌で感じてもらえました。



**フレッシューズセミナー**  
4月14日、21日、新入生同士の交友を深めると  
ともに、太宰府の歴史と文化を学びました。NHKの  
ニュースでも紹介されました。



**キャンパス相談会**  
4月22日、キャンパス相談会を開催。高校生と保護  
者が別々の会場に分かれ、それぞれの視点で進路  
選択について説明しました。



**学校ボランティア・学生サポーター  
体験報告会 & 説明会**  
5月7日、ボランティアや学生サポーター活動に興  
味のある学生が参加。活動時の社会人としての責  
任やマナーについても説明しました。

▶ 今後の予定 【大学・短期大学部】

日程	開催内容	開催場所
6月 9日(土)	紫友会総会	太宰府キャンパス
6月23日(土)	後援会総会・保護者懇談会	太宰府キャンパス
7月22日(日)	オープンキャンパス	太宰府キャンパス
8月 8日(水)	前期終講	太宰府キャンパス
8月11日(土)	オープンキャンパス	太宰府キャンパス

日程	開催内容	開催場所
9月 1日(土)	保護者懇談会	地方会場(宮崎)
9月 8日(土)	保護者懇談会	地方会場(鹿児島)
9月15日(土)	保護者懇談会	地方会場(熊本)
9月20日(木)	後期開講	太宰府キャンパス
9月23日(日)	キャンパス相談会	太宰府キャンパス



**ひな祭り・茶会**  
2月中旬から3週間、ひな人形を「香風亭」に飾り、茶会を開催。今年は高校宗教部による「雅楽演奏」も披露されました。



写真で見る筑女生の「今」

## CJ フォトピックス

高等学校・中学校

High School  
Junior High School

## 涅槃会・追悼会

2月20日、涅槃会・追悼会を開催。釈尊が涅槃に入られた日に遺徳を偲び、この一年で亡くなられた方々に哀悼の意を捧げました。



## 中学校語学研修旅行

2月29日～3月7日および、3月1日～3月8日、オーストラリアへ語学研修旅行をを行いました。



## 高校卒業式

3月3日、高校卒業式を開催。全員で最後の校歌を合唱すると、歌声が涙声に変わりました。597名の生徒が本校を巣立ちました。



## 高校修学旅行

3月5日～3月10日、関西、北海道、シンガポール、台湾へ修学旅行をを行いました。



## あい・コミ運動

3月14日、保護者の方々が、生徒たちとあいさつを通してコミュニケーションを図る「あい・コミ運動」を実施しました。



## クラスマッチ

3月15・16日、高校1・2年生のクラスマッチを開催。大縄跳び・バレーボール・ドッジボールの3種目で、クラスが一丸となりました。



## 新入生研修

4月中旬～下旬、中学1年生は篠栗の「社会教育総合センター」、高校1年生は熊本県阿蘇市にある学園施設「光雲荘」で宿泊研修を行いました。



## ハワイ開教総長来校

4月19日、浄土真宗本願寺派の松本エリックハワイ開教総長が来校され、茶室をはじめ、校舎や授業風景を見学されました。



## 花まつり・宗祖降誕会・創立記念式典

5月11日、釈尊の誕生をお祝いし、生徒たちが各自で持ち寄る花で「花御堂」を飾り、全校生徒によるお勤めをしました。

## ▶ 今後の予定 【高等学校・中学校】

日程	開催内容	開催場所
5月25日(金)・26日(土)	紫苑祭	誓固キャンパス
5月29日(火)	高校 能・狂言鑑賞会	誓固キャンパス
6月23日(土)	高校 体験入学	誓固キャンパス
6月24日(日)	中学 私学展	エルガーラホール(福岡天神)
6月30日(土)	高校 体験入学	誓固キャンパス

日程	開催内容	開催場所
7月 4日(水)	高校 体育祭	九電記念体育館
7月 7日(土)	中学 入試説明会	誓固キャンパス
8月18日(土)	中学・高校 私学展	エルガーラホール(福岡天神)
9月28日(金)	前期終業式	誓固キャンパス
9月29日(土)	高校 学校紹介・見学会	誓固キャンパス





**竹馬披露会**  
2月4日、足にたくさんの「がんばりママ」を作りながら、みんな乗れるようになりました。



**ロープのはしご登り**  
3月13日、響流の森ではしご登りにチャレンジ。こんなに高いところまで登れたよ～！



**ロープのブランコ**  
3月13日、ふうわり、空中に浮いたようなロープブランコ。“わー!! きもちいいよー”



**卒園式**  
3月14日、年少・年中組から、唄のプレゼント。“今までありがとう、小学校でもがんばってね”



**始園式**  
4月9日、ドキドキ＆ワクワク、新しい学年のスタートです。新しいクラスは何組かな？



**雨の日のあそび**  
4月11日、子どもたちは遊びの天才です！新聞紙もこの通り、スカートとステッキに変身！！



**たけのこ掘り**  
4月19日、みんなで力を合わせて、たくさん掘ったよ～！



**たけのこパーティー**  
4月26日、みんなで掘って作った、たけのこ飯は格別だ～！



**歓迎遠足**  
4月27日、年中さんと年長さん、仲良く手をつないで出発！舞鶴公園へ出かけました。



**はなまつり**  
5月8日、みんなが作ってくれた花御堂で、おしゃか様の誕生日をお祝いしました。

▶ 今後の予定 【幼稚園】

日程	開催内容	開催場所
6月26日(火)	年少保護者会	幼稚園
6月28日(木)	年中保護者会	幼稚園
6月29日(金)	年長保護者会	幼稚園
7月 7日(土)	なつまつり	幼稚園
7月17日(火)	終園式	幼稚園

日程	開催内容	開催場所
7月18日(水)～19日(木)	年長サマーキャンプ	幼稚園
8月23日(木)～24日(金)	夏期保育	幼稚園
8月25日(土)	そうめん流し	幼稚園
9月 3日(月)	始園式	幼稚園
9月 8日(土)	オープンキャンパス	幼稚園

写真で見る筑女生の「今」

# CJ フォトピックス

幼稚園

Kindergarten





# 就任・人事

## 就任

平成24年4月1日付で、次の方々が就任されました。



大学・短期大学部 学長  
〔略歴〕  
昭和51年3月 京都大学大学院教育学研究科修士課程修了  
同 57年4月 龍谷大学短期大学部 専任講師  
同 59年4月 龍谷大学短期大学部助教  
平成4年4月 龍谷大学短期大学部 教授  
同 9年4月 龍谷大学短期大学部長 理事  
同 15年4月 龍谷大学副学長・常務理事  
同 19年4月 龍谷大学学長・専務理事



中学・高等学校 校長  
〔略歴〕  
昭和50年3月 京都大学理学部数学科卒業  
同 50年4月 福岡県立筑紫丘高等学校 教諭  
同 57年4月 福岡県立宇美商業高等学校 教諭

同 60年4月 福岡県立筑紫高等学校 教諭  
平成6年4月 福岡県立修猷館高等学校 教諭  
同 10年8月 福岡県立修猷館高等学校 教頭  
同 14年4月 福岡県立香任丘高等学校 教頭  
同 15年4月 福岡県教育委員会 教職員課参事補佐  
同 16年4月 福岡県教育委員会 教職員課人事管理主事  
同 17年4月 福岡県立早良高等学校校長  
同 18年4月 福岡県立修猷館高等学校 校長  
同 22年4月 福岡県教育庁理事 (教育次長)  
同 23年4月 福岡県立修猷館高等学校 校長

## 人事

### 採用

(平成24年4月1日付)

採用	大学	短期大学部	高等学校	中学校	幼稚園
准教授	宮原 牧子	小川 暢祐	山口 春菜	村田 唯	青沼 典子
准教授	高石 史人	富永 信一	松永知恵子	早崎加菜子	
准教授	益満 孝一	浦田 英範	田中 亜実	田畑 亮平	
教授	益満 孝一	浦田 英範	吉田文三子	笠 依子	
教授	益満 孝一	浦田 英範	吉富 英章		
教授	益満 孝一	浦田 英範	田城さつき		
教授	益満 孝一	浦田 英範	近藤 義博		
教授	益満 孝一	浦田 英範	貝島 直子		
教授	益満 孝一	浦田 英範	近藤 義博		
教授	益満 孝一	浦田 英範	近藤 義博		
教授	益満 孝一	浦田 英範	近藤 義博		

### 任命

任命	大学・短期大学部	中学校
副学長	赤塚 俊男	ミラー 智子
学生部長	栗山 隆一	山田 尚宏
国際交流センター長	石井 康仁	田畑 亮平
入試部長	佐々木 浩	笠 依子
生涯学習センター長	一ノ瀬元史	
図書館長	大津 忠彦	
情報メディアセンター長	酒井 玲子	
人間文化研究所長	間瀬 均	
人間科学研究科長	崔 淑芬	

### 再任

再任	短期大学部	幼稚園
教頭	古田 瑞穂	小野山佳代
学長	小野 望	

### 昇任

昇任	大学・短期大学部	中学校
准教授	佐伯 敦子	伊地知朋之
准教授	矢幡 敏男	
准教授	田中 正人	
准教授	鈴木 龍也	
准教授	野中 陸美	
主任	川添百合子	
主任	花村 哲	
主任	花村 哲	
主任	花村 哲	
主任	花村 哲	

### 昇任・異動

昇任・異動	大学・短期大学部	中学校
事務職員	伊地知朋之	
事務職員	伊地知朋之	
事務職員	伊地知朋之	
事務職員	伊地知朋之	
事務職員	伊地知朋之	

### 異動

異動	大学・短期大学部	中学校
事務職員	伊地知朋之	
事務職員	伊地知朋之	
事務職員	伊地知朋之	
事務職員	伊地知朋之	
事務職員	伊地知朋之	

### 退職

退職	大学・短期大学部	中学校
退職	毛利 幸則	
退職	毛利 幸則	
退職	毛利 幸則	
退職	毛利 幸則	
退職	毛利 幸則	

## 称号授与

(平成24年3月16日付)

大学名誉教授  
高石史人

## 理事会・評議員会

理事・評議員  
小野望  
(平成24年3月31日付)

理事・評議員  
中嶋利昭  
(平成24年2月10日付)

理事・評議員  
若原道昭  
(平成24年4月1日付)

理事・評議員  
中嶋利昭  
(平成24年4月1日付)

理事・評議員  
赤塚陸男  
(平成24年4月1日付)

理事・評議員  
小野望  
(平成24年4月1日付)

理事・評議員  
小野望  
(平成24年4月1日付)

理事・評議員  
小野望  
(平成24年4月1日付)

理事・評議員  
小野望  
(平成24年4月1日付)

理事・評議員  
小野望  
(平成24年4月1日付)

理事・評議員  
小野望  
(平成24年4月1日付)

理事・評議員  
小野望  
(平成24年4月1日付)

理事・評議員  
小野望  
(平成24年4月1日付)

理事・評議員  
小野望  
(平成24年4月1日付)

理事・評議員  
小野望  
(平成24年4月1日付)

理事・評議員  
小野望  
(平成24年4月1日付)

理事・評議員  
小野望  
(平成24年4月1日付)

「女性MANGA研究」グローバル化と主体性表現「アジアを中心として」  
研究期間平成24・26年度  
総額一七、四二〇、〇〇〇円

## 寄付(順不同)

左記のとおりご寄付をいただきました。  
誌上、御礼とご報告をいたします。

中学校特別奨学金  
中嶋一郎様  
(元法人本部総務課 特任事務職員)  
金額二〇〇、〇〇〇円  
(退職記念)

学園奨学金  
後藤安代様(本学園評議員)  
金額五〇、〇〇〇円  
(香典返し)

西山富美子様  
金額一〇、〇〇〇円

古賀博巳様  
金額五〇、〇〇〇円  
(香典返し)

寄贈  
中学・高等学校へ  
筑紫女学園高等学校  
平成22年度卒業生同様  
電光掲示板65V型1台、  
42V型2台(講堂・大会議室)

寄贈  
中学・高等学校図書館へ  
株式会社積文館書店様  
シルクスクリン  
(岩絵具仕上げ)

寄贈  
幼稚園へ  
本吉勉様  
カプラー7セット

## 補助金・助成金

外部資金採択  
科学研究費助成事業  
(基盤研究(B))  
大城 房美  
(大学・文学部 英語学科教授)

外部資金採択  
科学研究費助成事業  
(基盤研究(B))  
大城 房美  
(大学・文学部 英語学科教授)



中学・高等学校  
家庭科  
常勤講師

たなか あみ  
**田中 亜実**



今年度より、高等学校で家庭科を担当することになりました。食生活や衣生活を中心に、一緒に楽しく家庭科を学んでいきたいと思っています。みなさんというお話しが出来たらと思います。よろしくお願ひします。

短期大学部  
現代教養学科  
准教授

おがわ のぶまさ  
**小川 暢祐**



食品学関係の科目を担当します。「食」が生命の根源であり、その恵みが、一個人の意思を超える大いなる関係性と、限りない光によってもたらされていることを眞摯にうけとめ、伝統ある本学の一端に連なる誇りと責任とを胸に邁進して参ります。

## 平成24年度 新任者からの ごあいさつ

筑紫女学園は今年度、11名の教職員を新たにお迎えしました。ここでは新任者のみなさんからのごあいさつをお届けします。

中学校  
音楽科  
常勤講師

かいじま なおこ  
**貝島 直子**



5年ぶりに本校の中高生と接する機会に恵まれ、特に感じたことは礼儀正しく謙虚な態度の生徒が多いということです。皆さんの将来においてこれらとはとても大切なことであり、ぜひこの姿勢を持ち続けてほしいと思います。

短期大学部  
現代教養学科  
特任准教授

とみなが しんいち  
**富永 信一**



本学では科学系の講義を担当します。福島原発事故以来、科学技術との付き合い方が改めて問われています。難しい問題ではありますが、講義を通じて皆さんと一緒に考え、理解を深めていけたらと思っています。

大学 文学部  
英語学科 准教授

みやはら まきこ  
**宮原 牧子**



英語学科の一員として皆さんの大学生生活に深く関わることをできることを、とても嬉しく思っています。主にイギリス文学関係の講義を担当します。「気づく」喜び、「学ぶ」喜び、「解る」喜びと一緒に経験しましょう。

幼稚園  
専任教諭

むらた ゆい  
**村田 唯**



新しい気持ちで働けることを嬉しく思っています。毎日元気いっぱいの子ども達からたくさんパワーをもらっています。そんな子ども達に負けられないように、これからは頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

高等学校  
英語科  
常勤講師

やまくち はるな  
**山口 春菜**



主に私立中・高で教員を務め今年で7年目です。高校2年の英語を担当します。自然豊かな所(国内外問わず)に行くのが好きです。筑紫女学園で皆さんと一緒に過ごせるのをうれしく思います。よろしくお願ひします。

大学 人間科学部  
人間科学科  
人間関係専攻 教授

ますみつ こういち  
**益満 孝一**



社会福祉の専門職養成とその支援・研究が専門です。構成的グループエンカウンター方式(SGE)で教職員や看護職などの熱い会場で「寒いギャク」を連発しています。今春、分担執筆で弘文堂から4冊が出版されました。

幼稚園  
常勤講師

はやさき かなこ  
**早崎 加菜子**



子どもたちや先生方、保護者の皆様と一緒に、元気いっぱい笑顔で毎日過ごして行きたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。幼稚園のみならず、早くお友だちになって沢山遊んだり、泣いたり、笑ったりしようね!

高等学校  
社会科  
常勤講師

まつなが ちえこ  
**松永 知恵子**



本年度より常勤講師としてお世話になります。社会科の松永知恵子と申します。高校2年生の地理と現代社会、そして高校3年生の地理を担当します。私自身、筑女のOGですので、みなさん気軽に声をかけてください。

大学 人間科学部  
人間科学科  
人間関係専攻 教授

うらた ひでのり  
**浦田 英範**



私の専門は、心理学を応用し困っている方々を支援する心理臨床実践学です。長年この実践と研究を行ってきました。未だ終わりのない過程ですが、学生の皆さんと心に寄り添う支援とは何か一緒に学べたらと考えています。

## CJ Webサイト情報

筑紫女学園では、これまで以上に学園の想いやメッセージ、活動状況をお伝えするために、Webサイトの充実を図っています。ここではそれらの中から特にご注目いただきたいサイトをご紹介します。

●大学・短期大学部 <http://www.chikushi-u.ac.jp/>

### 1 筑女(筑女分の1)のこぼ

【アクセス】筑紫女学園大学・短期大学部サイト最下段



キャリア、ボランティア活動、課外活動、クラブ・サークル活動、海外留学・海外研修、資格の項目ごとに、学生たちのリアルな声を紹介しています。随時更新されますので、ぜひご覧ください。

### オープンキャンパス 2012

【アクセスバナー】



学生スタッフが笑顔でお出迎えます。筑女の魅力をぜひ体験してください。筑女オリジナルランチやスイーツも用意しています。

### Web版「switch(スイッチ)」

【アクセスバナー】



親と娘の未来発見マガジンとして、学生や教員の情報を提供しています。年3回の発行予定。バックナンバーもぜひご覧ください。

●高等学校 <http://www.chikushi.ac.jp/hsc/h/>

### 平成24年度 大学入試合格状況

【アクセスバナー】



最新の大学等の合格実績を報告しています。

●中学・高等学校 <http://www.chikushi.ac.jp/hsc/j/>

### 今月のこぼ

【アクセスバナー】



毎月はじめに、全校生徒に配布している「心に響くこぼ」です。毎月1回更新しています。

●幼稚園 <http://www.chikushi.ac.jp/knd/index.php>

### オープンキャンパス 2012

【アクセス】筑紫女学園大学短期大学部附属幼稚園サイト 入園・見学について



前回のオープンキャンパスの様子も紹介しています。雨が降っても幼稚園でいっぱい遊べます。みなさんが来てくれるのを待っています!





## 公開講座 レポート

# 英会話が楽しく学べました!

～楽しく学ぶ英語③通訳者の技を使って楽しい英会話をする!～

昨年12月3日(土)、筑紫女学園大学・短期大学部において、公開講座「楽しく学ぶ英語③通訳者の技を使って楽しい英会話をする!」が開催されました。講師は、本学文学部英語メディア学科准教授Andy James先生です。はじめに配布されたプリントには「PAD、POD、PERSONAL」などの単語が並び、一見簡単で、意味も分かりやすそうなおもてですが、「PAD」といっても

「メモ帳」「アパート」「すねあて」など様々な意味がありました。「PAD」を「アパート」と訳すのは若者で、「You have a nice pad!」(君のアパートは素敵だね!)というように使います。通訳のおもしろいところは、十人十色ということ。言葉の感覚は人それぞれで、その人の感覚が訳にも表れていました。(大学/文学部 日本語・日本文学科4年 江藤ゆりさん)



2012(平成24)年度 前期

## 筑紫女学園大学 公開講座

受講料無料

	講座名	講師・主催等	開催日時	会場	対象	内容
公開講座	イヌと幸せに暮らす方法入門	福島 みゆき (犬のしつけインストラクター) 後藤 治 (獣医師) 佐々木 浩 (短期大学部教授) 協力:ドッグプレス	① 6月2日(土) ② 6月9日(土) 各 9:30～12:30	筑紫女学園大学 3号館4階 3401教室	一般/30名 (イヌを飼いだめた人、これから飼おうと思っている人で、2回とも出席できる方)	イヌに人間とのつきあい方を教える方法、イヌの健康管理の方法、イヌを飼うための基本的なマナー等についての講義・実習を行います。 ※既に犬を飼っている方は、犬の種類・年齢・性別を書いてお申し込み下さい。
体験講座	こころのオシャレ教室 ～押し花で遊ぶ～	板井 修一 (人間科学部教授、臨床心理士、鑑査療法士)	① 6月2日(土) ② 6月9日(土) ③ 6月16日(土) 各 10:30～12:00	筑紫女学園大学 8号館1階 8107教室	一般/20名 (募集終了しました)	身近にある季節の草花を材料に、押し花の簡単な作品を作ります。自分で揃えられた草花がきれいなキーホルダーや葉の押し花作品に变身するのは感動です。植物で遊ぶことで、疲れたこころの元気を取り戻しましょう。 ※材料費として、初回に500円を徴収します。
公開講座	第15回 仏教文化講座 「仏教入門 ～釈尊の教え～」 ①釈尊の生涯 ④縁起 ②四諦・八正道 ⑤智慧と慈悲 ③三法印	①中川 正法 (人間科学部教授) ②宇野 智行 (文学部准教授) ③小林 久泰 (学人文化研究所) ④楠本 信道 (大学非常勤講師) ⑤小山 一行 (文学部教授) 主催:仏教学研究室	① 6月6日(水) ② 6月13日(水) ③ 6月20日(水) ④ 7月4日(水) ⑤ 7月11日(水) 各 19:00～20:30	太宰府市 いきいき情報センター (太宰府市五采3-1-1)	一般/70名 (募集終了しました)	35歳で覺りを得られた釈尊は、その後80歳で入滅されるまでの45年間を説法にいそまれました。その説法の内容は、今も数々の經典の中に残されています。今一度、釈尊が説かれた教えの基本をおさらいしてみましょう。
公開講座	福島事故の教訓 ～脱原発社会への現実的シナリオ～	吉岡 斉 (九州大学副学長・比較社会文化研究院 教授) 主催:現代教養学科	6月16日(土) 14:00～16:00	エルガーホール 7階多目的ホール (福岡市中央区天神1-4-2)	一般/200名	原子力発電所の廃炉や除染等も含めた日本のエネルギー問題を考えるにあたって、政府の原発事故調査・検証委員会メンバーの吉岡斉先生をお迎えし、エネルギー使用と環境との調和という観点から考えます。
体験講座	体験しよう! 教育の実際 ①動きのコツをつかむ運動の指導法アレコレ ②よりよく生きるために ③すてきな先生になるために	①宮平 露 (人間科学部准教授) ②安恒 万記 (人間科学部准教授) ③松本 和寿 (人間科学部准教授) 主催:人間科学科人間形成専攻	① 9月1日(土) ② 9月8日(土) ③ 9月15日(土) 各 10:00～12:00	筑紫女学園大学 ①2号館地下2階 2B04教室 ②③8号館1階 8103教室	①② 一般・小学生 一般/30名 ③ 一般・中高生 一般/30名	実際に小学校教育の内容を体験することで、自分の教育のあり方を考えます。さらに、教師や保育士を目指す方にも役立つと思います。現場教員や教員志望者のご参加を歓迎します。 ①その子にあった指導法を探そう ②ユニバーサルデザインってなに? ③学級経営や学習指導を充実させる手立てや様々な教育問題の解決の糸口を探しましょう。

お申込み・お問合せ 筑紫女学園大学生涯学習センター  
〒818-0192 福岡県太宰府市石坂2丁目12-1

TEL/092(925)9685 FAX/092(925)3573  
Eメール/gakushu@chikushi-u.ac.jp

お申込み方法 ハガキ・FAX・Eメールまたは  
本学ホームページ(<http://www.chikushi-u.ac.jp>)より

\*お申し込みの際は、①受講希望講座名②氏名(フリガナ)③郵便番号④住所⑤電話番号・FAX番号をご記入ください。\*定員に達した場合は、締切りとなりますのでご了承ください。  
\*お預かりした個人情報は適切に管理し公開講座の運営以外に使用することはありません。

## Professors' Works ～先生方の著作紹介～

### 「越境する言の葉— 世界と出会う日本文学」

●日本比較文学会編 間瀬玲子 著  
「フランスにおける江戸川乱歩と横溝正史の受容」

江戸川乱歩や横溝正史など、日本文学が海外でどのように読まれているのかを、比較文学研究の切り口で分析。



彩流社刊  
6,300円  
2011年6月発行

(日本比較文学会創立60周年記念論文集)

### 「戦前期 仏教社会事業資料集成」

●中西直樹・高石史人・菊池正治 編集  
中西直樹・高石史人 解題(～6巻)

仏教史・仏教福祉のみならず、広く近代史・社会福祉を研究するにあたって、必携の基礎資料となる全13巻。



不二出版刊  
157,500円  
2011年9月発行

(第1回配本/各宗派共同編第1～2巻・浄土真宗本願寺派編第3～6巻)

### 「実践 日本語表現ワークブック」

●中村萬里・川崎聡・津野瀬果絵・  
矢木達之・占部匡美・蔵田純子 著

総合的に、日本語力を「養う・伸ばす」! テレビ西日本アナウンサーによる実践指導と豊富なサンプルのCD付。



双文社出版刊  
1,785円  
2012年2月発行

### 「中国少数民族の 文化と教育」

●崔淑芬 著

中国東北・西北・西南地域の少数民族を現地調査し、民族文化と教育の実情を明らかにした実践研究の成果。



中国書店刊  
4,830円  
2012年2月発行